

湯舟ため池ハザードマップ

このハザードマップは、菊池市旭志麓地内にある湯舟ため池の堤体が地震等により破堤した場合を想定し、浸水被害が想定される範囲を示したものです。
万一ため池が決壊した時、住民の皆さんが安全に避難できるように、各種情報を掲載しています。
なお、氾濫流は木石などを含んでいますから、予想外の流れが生じることがあります。
図の浸水域より20m以内を避難経路に選ばないようにしてください。

消防・救急 119番 (市外局番0968)

北消防署(菊池市赤星) 25-3053
西消防署(合志市辻久保) 096-242-1115

警察 110番 (市外局番0968)

菊池警察署 24-0110
花房台交番 38-2110

避難場所・避難所

-  指定緊急避難場所
-  指定避難所兼指定緊急避難場所
-  緊急避難場所
-  福祉避難所

浸水深

-  0.5m未満の区域
-  0.5m～3.0m未満の区域
-  3.0m～5.0m未満の区域
-  5.0m～10.0m未満の区域

土砂災害の危険がある場所

- 土石流**
 -  特別警戒区域
 -  警戒区域
- 急傾斜地の崩壊**
 -  特別警戒区域
 -  警戒区域

ため池諸元

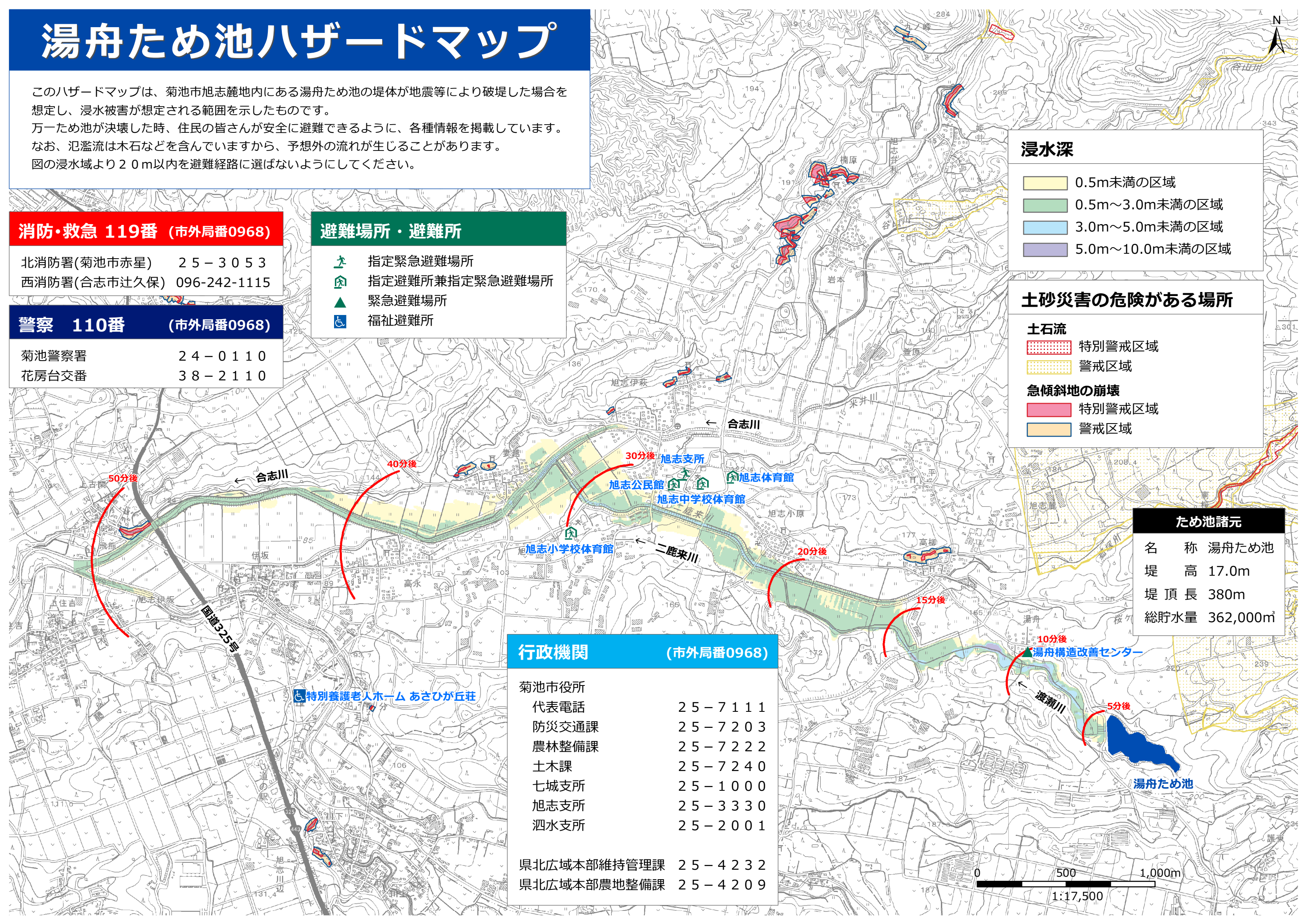
名称 湯舟ため池
堤高 17.0m
堤頂長 380m
総貯水量 362,000m³

行政機関

(市外局番0968)

菊池市役所
代表電話 25-7111
防災交通課 25-7203
農林整備課 25-7222
土木課 25-7240
七城支所 25-1000
旭志支所 25-3330
泗水支所 25-2001

県北広域本部維持管理課 25-4232
県北広域本部農地整備課 25-4209



災害情報...

災害情報提供サイト

社団法人電気通信事業者協会

《災害時の電話の利用方法》

NTT西日本《災害用伝言ダイヤル171》

NTTドコモ《災害用伝言板サービス》

au《災害用伝言板サービス》

SoftBank《災害用伝言板サービス》

菊池市

気象庁

熊本県防災情報システム

川の防災情報

九州電力

<https://www.tca.or.jp/information/disaster.html/>

<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/

<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/>

<https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/>

<https://www.city.kikuchi.lg.jp>

<https://www.jma.go.jp>

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp>

<https://www.river.go.jp>

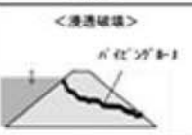
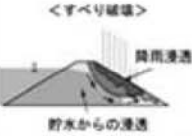
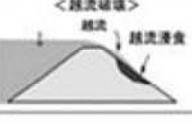
<https://www.kyuden.co.jp>

ため池決壊とは...

ため池決壊となる主な原因は、豪雨、地震による災害です。これ以外に稀ではありますが、老朽化による決壊や融雪水による急激な水位上昇に被災も報告されています。

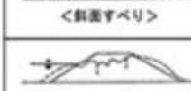
●大雨による決壊

台風や活発化した梅雨前線がもたらす豪雨により発生するほか、近年、局所的な集中豪雨により、浸透や貯水位に上昇に伴う堤体の破壊が発生するおそれがあります。

被災形態	被災メカニズム
 <浸透破壊> 水が堤体の内部に浸透し、貯水位が上昇した時に堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。	
 <すべり破壊> 貯水した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し崩壊する場合があります。	
 <越流破壊> 豪雨により、貯水位が急激に上昇し、低地を越えて流れ出し、下流斜面を流すことによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。	

●地震による決壊

地震により、堤体そのものが損傷する場合と基盤が液状化する場合があります。地震の揺れを原因として一気に起こる事もあれば、弱部に貯水が影響して暫く時間が経過して起こる事もあります。

被災形態	被災メカニズム
 <クラック> 堤体の内部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなる場合があります。特に注意が必要です。	
 <沈下> 堤体の形状を保持し、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。	
 <斜面崩壊> 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。	
 <斜面すべり> 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。	
 <陥没> 堤体や地盤が大きく変形し、崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。	

避難情報...

避難情報と住民のみなさんの行動

避難情報は、災害の種別ごとに避難行動が必要な地域に発令します。

大雨のとき

各河川ごとの水位基準が避難を要する水位に達したときや、県と気象台が共同で土砂災害警戒情報を発表したときに避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）を発令します。

危険度	区分	住民の皆さんの行動
大	避難準備・高齢者等避難開始	☐ いつでも避難ができるよう準備をしましょう。 ☐ 身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。 ☐ 避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児をお連れの方等）は、避難を開始しましょう。
	避難勧告	☐ 避難場所へ避難をしましょう。 ☐ 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。
	避難指示（緊急）	☐ まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう。 ☐ 外出することによって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。



※必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

大雨のときの避難行動

避難は災害から命を守るための行動です。大雨による災害から身を守る避難行動は、従来、避難勧告等の発令を受けて、避難所へ避難するのが一般的でしたが、今後は次の全ての行動を避難行動とします。

屋外が安全で移動できる状態のとき	屋外が危険な状態などのとき
1 指定避難場所への避難	2 警戒区域等内の自宅などから移動し、安全な場所への避難（公園、親戚や友人の家等）
3 近隣の強固で高い建物等への移動	4 建物内の安全な場所での待避（家屋内の垂直避難） やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として、洪水対策では建物の2階以上高いところへ、土砂災害対策には斜面と反対方向の高い壁への移動が有効です。

※特に、河川氾濫の浸水区域や土砂災害（特別）警戒区域にお住まいの方は、皆さんが早め早めに判断をして、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる自主避難をすることが命を守ることになります。

地震のとき

大きな地震に伴って、建物の倒壊の危険や火災発生のため、避難が必要なときや、土砂災害の危険が切迫しているとき、または危険物取扱施設の爆発など、二次災害が発生する恐れがあるときに避難勧告、避難指示を発令します。



火災のとき

大規模に延焼が拡大するおそれがあるときに避難勧告、避難指示を発令します。



その他

災害が発生するおそれがあるときに避難勧告、避難指示を発令します。